

「浙江大学スプリングスクール参加報告書」

京都大学理学部1年 山口佳奈子

① 学習成果

今回のプログラムには、中国語を上達させたいという理由と、中国での暮らしを体験したいという理由で参加しました。大学の中国語の授業は先生が主に中国語で、時々英語を交えながら話すので、最初は何を言っているのか聞き取るだけで精いっぱいでしたが、2週間でリスニング力はかなり上達したと思います。しかし、せっかく中国語を話せる機会であるのに自分からあまりしゃべることができなかったのも、話す力は伸ばせなかったかなと思います。プログラムに参加した他の京大生や浙江大学の同じクラスの人を見ると、積極的に話す人はやはり中国語の上達のスピードが速いなと感じました。何事も積極的に学ぶのが大事であるということも今回学んだことの一つです。

② 海外での経験

今回は2回目の海外でしたが、1回目よりも様々なことを経験できたと思っています。特に、大学内の寮で生活したことで中国の大学生の暮らしを少し体験できたのは良かったと思います。大学の敷地内にスーパー、食堂、床屋などがあり、大学内で普通に生活していける環境がそろっているというのは、日本の大学の様子から考えると驚きでした。

もう一つ印象的だったのは、同じクラスのタイ人の女の子と話したことです。私はタイ語は話せないけれど中国語を通して仲良くなれたのだと思います、語学を学ぶ意義を体感した出来事でした。来年以降中国語の勉強を続けていくかどうか考えていましたが、今回の経験で、もっといろいろな人と話せるようになりたいという思いから、これからはなんとか時間を見つけて中国語を勉強していこうという気持ちになりました。

③ プログラム内容

プログラム内容はとても充実していました。大学できちんと中国語の授業を受けさせてもらい、午後には大学周辺の様々な観光地や博物館に連れて行ってもらって杭州市の歴史や文化を体験することができました。ボランティアの方々が色々お話ししてくれたりサポートしてくれたりしたのが本当にありがたかったです。ただ一つ心残りだったのは、授業を十分に受けられなかったことです。私のクラスは最初の2週間で前学期の復習を行ったので、以前学んだことがあるものが多く、せっかく自分のレベルに合うクラスに入ったのに新しいことをあまり学べなかったのが残念でした。

④ 進路への影響について

私は大学に入学した時から漠然と留学して海外で専門科目を勉強したいと思っていたので、今回のプログラムでの経験を今後の留学の参考にしようと思って参加していました。中国に行く前は、誰も知っている人がいない土地に行って、しかも言葉も十分には分からない環境で、自分はやっていけるのだろうかという不安が大きくありましたが、2週間中国で生活してみて、最初は慣れなくてもだんだんと適応していけるのだなということを感じました。この体験は、今後の長期留学を前向きに考えるようになったという点で、良かったと思います。